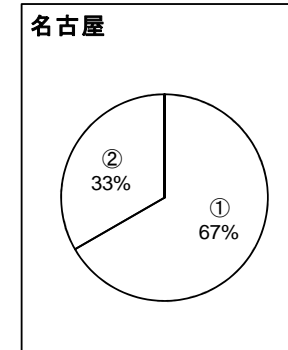
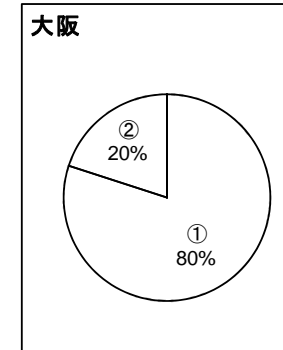
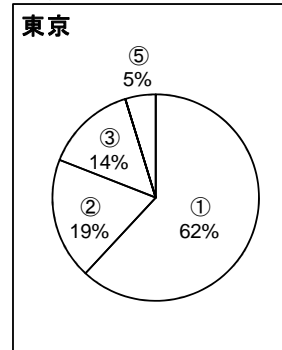


セミナーへのご参加、そしてアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

Q1. 日本の産業の明るい未来にとって、確定給付企業年金は、どのような位置づけにすべきとお考えでしょうか。一番近いと思われるものを、一つだけお選びください。

( )%	東京	大阪	名古屋	合計
① 日本産業の国際競争力は、製品・サービスの質の高さに依存する。その質を維持するためには、雇用の質が重要となることから、安定雇用の柱として、改めて、確定給付企業年金は戦略的に重要なものとして再認知されるべき。	13名	4名	4名	21
② 確かに、安定雇用は重要だが、確定給付企業年金は、企業の財務的不確実性を大きくしてしまうので、確定拠出等への移行を通じた相対的縮小は、不可避。	4名	1名	2名	7
③ グローバル競争に勝ち抜くためには、確定給付企業年金は、日本企業の人事制度として、不要である。	3名	0名	0名	3
④ その他	0名	0名	0名	0
⑤ 無回答	1名	0名	0名	1
	21	5	6	32



Q2. 金融庁は、資本市場の機能強化を目的として、コーポレートガバナンス・コード、ステewardシップ・コード、フィデューシャリー・デューティーの施策を用いて改革を推進してきました。4年目となるいま、資本市場への参加者として、現時点での達成度はどの程度であると思われますか。

	東京	大阪	名古屋	合計
① すでに達成された	0	0	0	0
② 7割程度達成している	4	0	1	5
③ 5割以下の達成度	11	3	4	18
④ まったく進んでいない	4	2	1	7
⑤ 無回答	2	0	0	0
合計	21	5	6	32

